



## IDF PRESS RELEASE

Brussels, 4th January 2018

### IDFプレスリリース

2018年1月4日、ブリュッセル発

## 持続可能な食事における乳の役割

### 乳の重要な役割を強調する

#### The Role of Dairy in Sustainable Diets: highlighting the essential role of dairy

2018年2月1日ー2日、スペインはセビリアで「持続可能な食事における乳の役割」シンポジウムが開催される予定である。

動物由来食品の消費に反対する活動家は、動物由来食品を止めると人間と地球はより健康になれると主張する。しかしこれは本当か？セビリアで、メアリー・ベス・ホール氏（USDA）は、畜産食品から完全に離れると、米国の栄養要求量に適合するための課題が大きくなり、カルシウム、ビタミンAおよびB<sub>12</sub>やその他の重要な脂肪酸の摂取不足を招きかねないと警鐘を鳴らす。しかし、動物由来食品をなくせば米国の温室効果ガス排出量をわずかに2.6%減らすに過ぎない。

「この研究から家に持ち帰れる成果は、食糧生産というものの思考回路を拡大する必要性を認識することです。そうすることでより広い食糧システムにある個別の断片を変え、複雑な結果が説明できます。」と、メアリー・ベス・ホール氏は語った。

グレゴリオ・ヴァレラ・モレイラス Gregorio Varela Moreiras 氏（CEUサンパブロ大学）は、「スペイン国民の健康における乳の役割」に焦点を当てる。モレイラス氏は、スペインで行われた最近の研究、すなわち乳および乳製品の摂取を減らすことでカルシウム不足を含む、栄養的な悪影響の知見を示す予定である。

12人以上の講演者が、乳および乳製品の栄養学的に様々な側面や環境的な側面をカバーする予定である。

当シンポジウムのプログラムは <https://www.fil-idf.org/idfevent2018/>を参照ください。

完

翻訳：J I D F事務局

编者注:仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。